Creative Enzymes®

ネイティブ牛L-グルタミン酸脱水素酵素

Cat. No. NATE-0392

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	L-グルタミン酸脱水素酵素は、グルタミン酸をα-ケトグルタル酸に□換する反□を触媒します。この酵素の哺乳類型、特にこの牛型は、NADP(H)またはNAD(H)のいずれかを補因子として使用できます。L-グルタミン酸脱水素酵素は、哺乳類の代謝において独自の役割を果たします。この酵素によって触媒される逆反□は、アンモニアがα-カルボン酸のα-炭素原子に結合する唯一の□路であり、したがって、哺乳類種における新規アミノ酸合成の唯一の供給源です。
別名	グルタミン酸脱水素酵素; グルタミン酸脱水素酵素 [NAD (P)]; 9029-12-3; グルタミン酸脱水素酵素 [NAD (P)+]; EC 1.4.1.3; L-GLDH; L-グルタミン酸:NAD[P]+ 酸化還元酵素 (脱アミノ化)

製品情報

種	ウシ
由来	牛肝
形態	タイプI、硫酸アンモニウム懸濁液、2.0 M (NH4)2SO4 溶液中の懸濁液; タイプII、凍結乾燥粉末、主にクエン酸緩衝塩を含む; タイプIII、水性グリセロール溶液、50% グリセロール中の溶液、pH 7.3。
***EC**番号*	EC 1.4.1.3
***CAS**登□番号*	9029-12-3
活性	タイプI、> 40ユニット/mgタンパク質; タイプII、> 20ユニット/mgタンパク質; タイプIII、> 35ユニット/mgタンパク質。
代謝□路	アラニン、アスパラギン酸およびグルタミン酸の代謝、特定の生物系; アラニン、アスパラギン酸およびグルタミン酸の代謝、保存された生物系; D-グルタミンおよびD-グルタミン酸の代謝、特定の生物系
機能	ATP結合; GTP結合; グルタミン酸脱水素酵素 (NAD+) 活性
単位定義	1ユニットは、アンモニウムイオンの存在下で、pH 7.3、25°Cで1分あたり1.0μモルのα-ケトグルタル酸をL-グルタミン酸に還元します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C